

## 第5節 健康増進課

### 〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、健康診査事業、予防接種事業、新型インフルエンザ等対策事業、救急医療対策事業、子育て世代包括支援センター事業、母子保健事業、栃木市健康増進計画推進事業、健康づくり事業である。

健康診査事業では、集団検診での基本健診と各種がん検診等実施のほか、個別検診では子宮がん検診、乳がん検診、歯周病検診及び口腔がん検診を実施した。

また、特定健康診査受診券やがん検診無料クーポン券等を個人ごとにまとめた「けんしんパスポート」、及び集団検診の日程や内容等をお知らせする「けんしんガイドブック」を世帯ごとに郵送したほか、新たに「健康マイレージ事業」を実施するなど、受診率向上に努めた。

予防接種事業では、感染症予防及びまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種、高齢者に対するインフルエンザ及び肺炎球菌感染症予防接種を実施し、任意接種の小児インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス感染症について接種費用の助成を行ったほか、大人の風しん予防対策事業として風しん抗体検査、風しん予防接種、麻疹風しん混合予防接種を実施した。

また、携帯電話やスマートフォン等で利用できる「とち介の予防接種ナビ」の実施により接種間隔錯誤や接種忘れの防止に努めた。

新型インフルエンザ等対策事業では、新型インフルエンザ等が発生した際に必要となる備蓄品の補充及び栃木市新型インフルエンザ等対策本部運営訓練を実施した。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制及び二次救急医療体制の確保に努めたほか、新たに自動体外式除細動器（AED）をコンビニエンスストアに設置した。

子育て世代包括支援センター事業では、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、母子健康手帳交付及び面接、生後2週間目全戸電話相談、訪問等による個別相談を実施した。更に、発達障害、児童虐待、DV、子どもの貧困等複合的な課題を抱える家庭に対し、関係機関との連携を図るため、すこやか子育てサポート会議や妊産婦乳児虐待予防会議、多機関連携による家庭支援のための学校等訪問相談を実施した。

母子保健事業では、母性及び乳幼児、児童生徒の健康の保持増進を図るため、妊婦・乳幼児健康診査、各種教室や相談、訪問指導、小・中学校と連携した思春期保健教育を行ったほか、発達障がい等の早期発見、発達・育児支援を目的に乳幼児発達相談を実施した。

栃木市健康増進計画推進事業では、各種データの分析及び市民の生活習慣や健康課題、企業の健康に関する取組状況を把握するためアンケート調査を取りまとめ、中間評価を実施した。また、こころの健康対策として、自殺の防止を図り、市民が生きがいを持って暮らすことができる社会の実現を目指すため、自殺対策計画を策定した。

健康づくり事業では、生活習慣病の発症・重症化予防のため、特定保健指導や運

動、栄養等に関する相談及び健康教育事業を実施した。

管理係

1 市民健康まつり開催事業

市民の健康増進のため、市民健康まつりを開催した。

・実施日 11月25日（日）

・会場 栃木中央小学校、とちぎ蔵の街観光館多目的ホール

番号	協力団体名	実施内容	参加者 (人)
1	医師会	市民公開講座	74
		健康相談	165
		血圧・血糖値測定	300
		肺活量測定	150
		動脈硬化測定	158
2	歯科医師会	口腔がん検診等	292
3	薬剤師会	お薬相談等	205
		C o測定等	158
4	歯科技工士会	相談等	45
5	歯科衛生士会	ブラッシング指導等	41
6	栄養士会	栄養指導	74
7	食生活改善推進員協議会	食生活アドバイス等	584
8	母子保健推進員協議会	お手玉投げゲーム等	69
9	鍼灸按摩マッサージ指圧師会	マッサージ体験	68
10	J Aしもつけとちぎ農産物直売所	新鮮野菜の販売	150
11	N P O法人蔵の街ウェイブ	味噌田楽販売等	295
12	とちぎメディカルセンター	骨密度測定	168
13	栃木健康福祉センター	自殺予防普及啓発事業	70
14	協会けんぽ	肌年齢測定等	496
15	日本スロージョギング協会	スロージョギング講習会	41
16	保険医療課	特定健診P R	250
17	地域包括ケア推進課	もの忘れ相談等	147
18	健康増進課	体脂肪率・筋肉量測定等	433
		がん検診啓発	128
		健康ポスター展示	-
合 計			4,561

## 2 岩舟健康福祉まつり開催事業

「健康でいきいきとした賑わいのあるまちづくり、心地よく暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、岩舟健康福祉まつりを開催した。

- ・実施日 10月21日（日）
- ・会場 岩舟健康福祉センター（遊楽々館）

番号	実施内容	参加者（人）
1	体組成測定	130
2	認知症クイズラリー、高齢者疑似体験	135
3	腎内科医相談	6
4	歯科医相談	7
5	ブラッシング指導	51
6	ロコモ度チェック	116
7	防災用備蓄品無料配布	200
8	AEDに触れる	128
9	生活習慣病予防食配布	300
10	骨密度測定	116
11	献血	45

## 3 各地域での健康啓発事業

各地域におけるイベントに参加し健康啓発を行った。

### (1) 第25回ふれあい健康福祉まつり

- ・実施日 5月27日（日）
- ・会場 大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）他

番号	実施内容	参加者（人）
1	献血	39
2	食育コーナー	61
3	骨密度測定	112
4	歯の健康コーナー	36
5	体脂肪率・筋肉量測定	136
6	健康あっぷ啓発グッズ配布	200

### (2) 第32回藤岡ふくしまつり

- ・実施日 10月21日（日）
- ・会場 藤岡文化会館、藤岡公民館

実施内容	参加者（人）
健康あっぷ啓発グッズ配布	200

### (3) まるまるまるごとつがまつり

- ・実施日 11月18日（日）
- ・会場 産文通り線、ハートホール、都賀保健センター他

実施内容	参加者（人）
健康あっぷ啓発グッズ配布	200

(4) ど田舎にしかた祭り

- ・実施日 12月2日（日）
- ・会場 道の駅にしかた及びうらの田んぼ

実施内容	参加者（人）
健康あっぷ啓発グッズ配布	200

4 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

実施日数 （日）	受付 （人）	200ml献血 （人）	400ml献血 （人）	献血者計 （人）	不適格者 （人）
3	288	16	220	236	52

5 骨髄移植ドナー支援事業

骨髄又は末梢血管細胞を提供した方（ドナー）の負担を軽減し、骨髄移植の推進及びドナー登録者の増加を図るため、ドナーとその方の勤務する事業所に対し、助成金を交付した。

- ・交付実績（単位：件）

ドナー	事業所
1	1

6 保健福祉センター利用状況（利用延べ人数）

(1) 栃木保健福祉センター

（単位：人）

区分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合計
利用者数	5,325	9,740	152	3,243	18,460

(2) 藤岡保健福祉センター

（単位：人）

区分	会議室	検診ホール	調理実習室	合計
利用者数	3,302	5,541	705	9,548

(3) 都賀保健センター

（単位：人）

区分	会議室	和室	調理室	その他	合計
利用者数	4,014	2,379	645	2,803	9,841

(4) 西方保健センター

（単位：人）

区分	機能訓練室	診察室	調理実習室	研修室	講和室	合計
利用者数	967	797	82	196	817	2,859

地域医療対策係

1 救急医療対策事業

(1) 初期救急医療

栃木地区急患センター

- ・管理運営 栃木市医師会（指定管理者）

ア 休日・夜間診療

- ・診療時間 休日………午前9時～午後9時 内科・外科  
平日夜間…午後7時～午後10時 内科

日数（日）	延べ患者数（人）
365	6,279

イ 小児救急医療

- ・診療時間 日曜日 午後6時～午後9時

日数（日）	延べ患者数（人）
52	722

(2) 二次救急医療

ア 病院群輪番制病院運営等補助事業

病院群輪番制に参加する2病院（とちぎメディカルセンターしもつが、獨協医科大学病院）に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	延べ患者数（人）
病院群輪番制病院(2病院)	365	10,844

栃木医療圏の救急告示病院（藤沼医院、多島外科胃腸科、とちぎメディカルセンターとちのき）に対し、二次救急を確保するため、救急車受入件数に応じ補助金を交付した。

利 用 施 設	件数（件）
救急告示病院（3施設）	518

イ 小児二次救急医療

小児二次救急医療機関に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	延べ患者数（人）
獨協医科大学病院	365	2,209

2 地域医療対策基金積立事業

（単位：円）

平成 29 年度末現在高	積立金額	繰出金額	平成 30 年度末現在高
22,115,315	1,981	0	22,117,296

3 とちぎメディカルセンター運転資金貸付事業

- ・貸付名称 とちぎメディカルセンター運転資金貸付金
- ・用 途 とちぎメディカルセンターが開設するしもつがの運営に要する運転資金

- ・貸付金額 5億円
- ・貸付期間 4月2日から3月29日

#### 4 自動体外式除細動器（AED）貸出事業

市内で開催される各種行事において、参加者が心肺停止状態に陥った際の救急救命活動に備えるため、主催する団体へ自動体外式除細動器（AED）の貸出しを行った。

- ・貸出件数 23件

#### 5 自動体外式除細動器（AED）整備事業

公共施設に設置されている自動体外式除細動器（AED）については、休館日・閉館日には使用することができないことから、応急救護体制の充実を図るため、コンビニエンスストア2社と自動体外式除細動器（AED）設置に関する協定を締結し、市内コンビニエンスストア10店舗に設置した。

### 予防係

#### 1 予防接種事業

小児の感染症予防及びまん延防止のため、予防接種法に基づく定期接種並びに任意接種の小児インフルエンザ、おたふくかぜ及びロタウイルス感染症予防接種を実施した。高齢者の感染症予防のため、インフルエンザ及び肺炎球菌感染症予防接種を実施した。

また、風しん予防対策事業として、風しん抗体検査、風しん予防接種及び麻疹風しん混合予防接種を実施した。

##### (1) 定期接種

##### 個別接種

##### ア ヒブ感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数 (開始月齢により異なる。)  
 生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）  
 生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）  
 生後12月から60月に至るまで：1回

##### ・接種状況

	勸奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回 1回目	992	994	100.2
初回 2回目		979	98.7
初回 3回目		987	99.5
追加		983	99.1

イ 小児の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数 (開始月齢により異なる。)
  - 生後 2月から 7月に至るまで：4回 (初回3回、追加1回)
  - 生後 7月から12月に至るまで：3回 (初回2回、追加1回)
  - 生後12月から24月に至るまで：2回
  - 生後24月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回 1回目	992	993	100.1
初回 2回目		991	99.9
初回 3回目		996	100.4
追加	992	992	100.0

ウ B型肝炎

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1歳に至るまでの間にある者
- ・回数 3回
- ・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	992	991	99.9
2回目		994	100.2
3回目		923	93.0

エ BCG (結核)

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後1歳に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数(人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
992	990	99.8

オ 四種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1期初回 20日以上の間隔で3回  
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1期初回 1回目	992	998	100.6
1期初回 2回目		1,014	102.2
1期初回 3回目		989	99.7
1期追加		1,092	110.1

カ 急性灰白髄炎（ポリオ）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間の、ポリオワクチン接種の必要回数（4回）を終了していない者  
（生ポリオ2回終了した者は除く）
- ・回数 1期初回 20日以上の間隔をおいて3回  
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
- ・ポリオは四種混合に含まれているため、接種が必要となる場合は、三種混合を受けていた場合のみ
- ・接種状況

	被接種者数（人）
1期初回 1回目	0
1期初回 2回目	2
1期初回 3回目	2
1期追加	19

キ 麻しん・風しん（混合）

(ア) 1期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
992	999	100.7

(イ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 5歳～7歳未満の者で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者（幼稚園・保育園等の年長児相当）
- ・回数 1回



・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,165	1,096	94.1

ク 水痘

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後36月に至るまでの間にある者
- ・回数 3月以上の間隔をおいて2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	992	998	100.6
2回目		1,034	104.2

ケ 日本脳炎

(ア) 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 6日以上の間隔で2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	1,121	1,311	116.9
2回目		1,382	123.3

(イ) 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1期初回接種終了後おおむね1年経過した生後90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,121	1,214	108.3

(ウ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 9歳以上13歳未満の者及び予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
2,543	1,957	77.0

コ 二種混合（ジフテリア・破傷風）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 11歳以上13歳未満の者（小学校6年生）
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,310	1,206	92.1

サ ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子  
※平成25年6月14日から積極的接種勧奨を中止している。
- ・回数 3回
- ・接種状況

	被接種者数（人）
1回目	1
2回目	0
3回目	0

シ 高齢者インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月28日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①65歳以上の希望者  
②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいをする者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいをする者で、接種を希望する者
- ・回数 年度内1回
- ・助成額 3,500円
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
48,934	27,113	55.4

（対象者数は65歳以上の人数）

ス 高齢者の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①年度末年齢65歳の希望者

②60歳から65歳未満の者（高齢者インフルエンザと同じ）

③年度末年齢70、75、80、85、90、95、100歳の希望者

※過去に接種歴のある者は対象外

・回数 生涯1回

・助成額 5,700円

・接種状況

① 年度末年齢65歳の希望者

勸奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
2,399	1,214	50.6

②60歳から65歳未満の者

③年度末年齢70、75、80、85、90、95、100歳の希望者

被接種者数（人）
350

(2) 任意予防接種

個別接種

ア 小児インフルエンザ

・実施期間 10月1日～2月28日

・接種方法 協力医療機関で個別実施

・対象 満1歳から小学校就学前の小児の希望者

・回数 年度内に2回まで

・助成額 1回あたり2,500円

・延べ被接種者数 7,948人

イ おたふくかぜ

・実施期間 通年

・接種方法 協力医療機関で個別実施

・対象 生後12月から小学校就学前の小児の希望者

・回数 生涯2回

・助成額 3,600円

・延べ被接種者数 1,272人

ウ ロタウイルス感染症

・実施期間 通年

・接種方法 協力医療機関で個別実施

(ア) 1価ワクチン

・対象 生後6週から生後24週までの間にある者の希望者

・回数 4週間以上の間隔をおいて2回

・助成額 1回あたり7,600円

・延べ被接種者数 1,358人

(イ) 5価ワクチン

・対象 生後6週から生後32週までの間にある者の希望者

- ・回数 4週間以上の間隔をおいて3回
- ・助成額 1回あたり5,300円
- ・延べ被接種者数 272人

(3) 風しん予防対策事業

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 次のいずれかに該当する方
  - ①妊娠を希望している女性およびその配偶者
  - ②妊娠している女性の配偶者

ア 風しん抗体検査

- ・回数 1回
- ・助成額 2,000円
- ・受診者数 121人

イ 風しん予防接種

- ・回数 1回
- ・助成額 3,000円
- ・被接種者数 120人

ウ 麻しん風しん混合予防接種

- ・回数 1回
- ・助成額 5,000円
- ・被接種者数 290人

2 とち介の予防接種ナビ事業

携帯電話やスマートフォン等から利用できる予防接種スケジュール自動作成機能や接種予定日を知らせるアラート機能を有したサービスを実施した。これにより、予防接種の間隔錯誤や接種忘れの防止に努めた。

- ・登録者数 3,892人

3 感染症予防啓発事業

(1) 広報とちぎへの掲載

記事内容	掲載時期
麻しん（はしか）の流行（注意喚起）	7月号
H I V抗体検査、性感染症検査の実施	12月号
季節性インフルエンザの予防	12月号

(2) 市ホームページへの掲載

H I V抗体検査・性感染症検査の実施、ノロウイルス予防、季節性インフルエンザ予防、風しん注意喚起、麻しん注意喚起、海外の感染症予防、食中毒予防

4 新型インフルエンザ等対策事業

新型インフルエンザ等が大流行した場合に必要な備蓄品の補充及び栃木市新型インフルエンザ等対策本部運営訓練を実施した。

検診係

1 集団検診実施状況

- ・ 集団検診実施回数 102回
- ・ 集団検診実施場所 各保健センター、各公民館等

2 基本健診受診者数 (単位：人)

健診区分	特定健康診査(国保)	特定健康診査(社保等)	後期高齢者健康診査	ヤング健康診査	健康診査	合計
集団	6,823	1,647	2,536	1,152	28	12,186
個別	1,575	-	2,316	-	-	3,891
合計	8,398	1,647	4,852	1,152	28	16,077

3 がん検診等事業

(1) がん検診

区分	実施回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)	精検不要(人)	判定不能(人)
胃がん	100	49,966	6,082	12.2	4,934	471	677	0
肺がん	100	49,966	11,073	22.2	7,287	298	3,488	0
大腸がん	102	49,966	10,512	21.0	10,036	476	-	0
前立腺がん	71	19,502	4,356	22.3	4,035	321	-	-
子宮がん(頸)	101	35,732	5,179	20.7	5,024	88	67	0
	(医療機関)		2,213		2,104	67	42	0
子宮がん(体)	(医療機関)	35,732	842	2.4	837	5	0	0
乳がん	101	33,420	7,684	23.1	4,793	274	2,617	0
	(医療機関)		39		36	3	0	0

(2) 肝炎ウイルス検診

区分	受診者数(人)	要精検(人)
B+C型	1,045	8
B型のみ	18	0
C型のみ	3	0

(3) 骨粗しょう症検診

年齢	項目	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
					正常範囲	要指導	要精検
20・25歳女		1,430	12	0.8	12	0	0

30・35歳女	1,554	113	7.3	91	20	2
40歳女	941	93	9.9	70	21	2
45歳女	1,145	121	10.6	94	26	1
50歳女	1,028	100	9.7	76	22	2
55歳女	860	112	13.0	53	53	6
60歳女	1,136	176	15.5	52	89	35
65歳女	1,208	240	19.9	58	124	58
70歳女	1,515	371	24.5	69	195	107
60歳男	1,093	45	4.1	25	17	3
65歳男	1,193	112	9.4	49	51	12
70歳男	1,509	216	14.3	108	73	35
計	14,612	1,711	11.7	757	691	263

(4) ABC検査

項目 年齢	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)			
				A群	B群	C群	D群	
40歳	1,979	121	6.1	104	12	5	0	
45歳	2,465	147	6.0	123	17	5	2	
50歳	2,092	107	5.1	87	13	6	1	
55歳	1,810	94	5.2	72	15	6	1	
60歳	2,229	133	6.0	101	19	11	2	
65歳	2,401	218	9.1	152	34	28	4	
70歳	3,024	345	11.4	208	59	59	19	
計	16,000	1,165	7.3	847	169	120	29	

(5) 歯周病検診

区分	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要指導(人)	要精検(人)
20歳	1,522	7	0.5	0	1	6
25歳	1,524	4	0.3	0	2	2
30歳	1,562	63	4.0	4	7	52
35歳	1,704	83	4.9	6	11	66
40歳	1,979	136	6.9	7	14	115
45歳	2,465	149	6.0	7	23	119
50歳	2,092	125	6.0	5	19	101
55歳	1,810	142	7.8	5	14	123
60歳	2,229	190	8.5	8	18	164
65歳	2,401	247	10.3	11	14	222
70歳	3,024	308	10.2	14	28	266
76歳	1,968	309	15.7	14	25	270
計	24,280	1,763	7.3	81	176	1,506

(6) 口腔がん検診

区 分	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	口腔がん所見(人)	他の所見(人)
50歳～59歳	19,623	229	1.2	205	1	23
60歳～69歳	24,935	287	1.2	266	3	18
70歳～76歳	16,036	297	1.9	263	4	30
計	60,594	813	1.3	734	8	71

4 けんしんパスポート、けんしんガイドブック送付事業

受診率向上のため、個人ごとに受診券や無料クーポン券などをまとめた「けんしんパスポート」を、世帯に一冊の集団検診日程や内容、予約方法などを記載した「けんしんガイドブック」とともに送付した。

- ・対 象 20歳以上の全市民
- ・発送時期 5月下旬
- ・対象者数 137,183人 65,237世帯
- ・集団検診予約受付

予約方法	電話・窓口	ファックス	インターネット	合計
受付数(件)	11,769	1,134	3,621	16,524
割合(%)	71.2	6.9	21.9	

5 健康マイレージ事業

市民が自らの健康保持増進に関心を持ち、健(検)診の受診や健康づくりに積極的に取り組むためのインセンティブとして、健康マイレージ事業を実施した。

- ・対 象 20歳以上の全市民
- ・実施方法 けんしんパスポートに、ポイントカード及び参加方法の説明を綴り、全対象者に配布  
参加者全員にサポートカードを発行(サポート店:38件)  
参加者の中から抽選で600人に記念品等を送付
- ・参加状況及び抽選結果 (単位:人)

区 分	参加者数	記念品当選者数	商品券当選者数
男 性	265	181	46
女 性	403	319	54
合 計	668	500	100

子育て世代包括支援センター係

1 子育て世代包括支援センター事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付(各総合支所分を含む)

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届

出をした者等に対し、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケート及び個別面接を実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じ、相談対応を行った。また、県南地区統一のリスクアセスメントシートをもとに係内で要支援ケースカンファレンスを実施し、特に支援が必要な妊婦への支援方針を検討し安心して出産が迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況

(単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数				
	妊娠届出	双胎	紛失等	海外からの転入	
993	1,062	993	15	45	9

- ・要支援ケースカンファレンス実施回数 82回
- ・要支援ケースカンファレンス検討者数 651人

(2) 健康相談・支援

ア 生後2週間目全戸電話相談

出産を終えて退院後の不安を抱きやすい時期に、子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導するために、保健師及び非常勤助産師による電話相談を行った。

- ・対象者数 1,002人
- ・実施数 993人
- ・実施率 99.1%

イ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導するために、保健師及び非常勤・在宅助産師による訪問指導を行った。

・訪問指導状況

(単位：人)

	訪問実数	訪問延べ数
市内在住者	165	207
他市町からの里帰り	16	16
計	181	223

ウ 低体重児の届出・未熟児訪問指導

体重が2,500グラム未満の児が出生した場合、保護者からの届出を受け、児の発達状況や家庭環境に応じた適切な養育指導を行うため、保健師や非常勤・在宅助産師が訪問を実施し、児の健全な発育・発達を促した。

- ・届出数 100件
- ・訪問件数 7件

エ 個別相談

妊娠期から子育て期にわたるまでの育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、電話や面接、訪問による相談を実施した。

・相談実施状況

(単位：人)

	面接	電話	訪問	計
妊婦	25	57	17	99



産婦	101	201	145	447
乳児	128	175	145	448
幼児	31	19	0	50
学童以上	176	192	59	427
計	461	644	366	1,471

オ 子育てサポートプランの作成

複合的な課題を抱える世帯に対して、関係機関が支援の方法や支援体制を共通理解して、継続的に支援が行えるよう、プランを作成した。

- ・作成数 11件(妊婦：1件 幼児：4件 学童以上：6件)

(3) 関係機関との連携

ア すこやか子育てサポート会議

複合的な課題を抱える世帯に対して、関係機関が連携して支援していくために、情報交換及び支援方針等の検討を行った。

- ・開催数 13回
- ・検討世帯数(延べ) 27件

イ 妊産婦乳児虐待予防会議

妊娠届時や妊産婦訪問、生後2週間目全戸電話相談等、産前産後や乳児期において、保護者の支援が必要と把握されたケースについて、虐待の危険性の有無を判断し、今後の支援の方針等の検討を行った。

- ・開催数 14回
- ・検討世帯数(延べ) 27件
- ・報告世帯数(延べ) 18件

ウ 多機関連携による家庭支援のための学校等訪問相談事業

複合的な課題を抱える家庭に対して、適切な福祉的支援につなげていくために、学校等関係機関から聞き取りを行うため、訪問を実施した。

- ・学校訪問実施回数 3回

2 産後ケア事業

核家族化の進展や出産年齢の高齢化、地域のつながりの希薄化の中で家族等から出産後の支援が得られない産婦が増加しており、産後うつをはじめとしたメンタルヘルスの問題等が顕在化してきている。このような中、産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産後4か月未満で支援を必要とする母子に対し、心身のケア、育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。

・利用状況

(単位：人)

利用者数(人)		利用内訳(人)						
	計	1日/泊	2日/泊	3日/泊	4日/泊	5日/泊	6日/泊	7日/泊
通所	1						1	
宿泊	10	1	4	1	2	1		1

母子保健係

1 母子保健事業

(1) 健康診査

ア 妊産婦健康診査

妊産婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき妊婦健康診査14回と産婦健康診査2回の受診票を交付し、妊産婦の健康管理の向上を図った。(母子健康手帳交付時に受診票を配付、医療機関に委託して実施)

・妊婦健康診査受診状況 (単位：人)

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	
受診者数	972	968	960	982	996	980	960	
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	計
受診者数	972	923	822	956	643	402	217	11,753

・産婦健康診査受診状況

回数	1回目 (産後2週間目)	2回目 (産後1か月目)	計
受診者数	302	976	1,278

イ 妊婦歯科健康診査

妊婦を対象に口腔衛生の向上を図るため、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
1,066	412	38.6

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により、育児不安の軽減を図った。1歳6か月児及び3歳児健診においては、心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談に応じた。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター、西方保健センター

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
4か月児	46	1,002	990	98.8	152	66	9	27
9か月児	46	959	944	98.4	170	56	4	18
1歳6か月児	40	1,040	1,028	98.8	361	21	5	27
3歳児	40	1,141	1,128	98.9	294	39	13	166

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見とう歯予防知識の普及を目的に、歯科健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児相談を行った。

・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター、西方保健センター

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
30	1,125	1,050	93.3	37 (3.5%)

オ 乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。

・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

開催回数 (回)	受診児数 (人)			結果内訳 (人)		
	初診	継続	計	今回のみ指導	再診	要治療・要精検
24	72	74	146	78	51	17

カ 乳児先天性股関節脱臼検診

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
986	954	96.8	920	32	2

キ 新生児聴覚検査

新生児の聴覚障がいを早期に発見し、適切な療育を行うことにより、言語発達等への影響を最小限に抑えることを目的に検査を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)
1,002	1,000	99.8

## (2) 健康教育

ア 両親（母親）教室

妊婦、夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供するとともに、夫の妊婦擬似体験やお風呂の入れ方等の体験学習を行った。また、先輩ママを招き、出産や育児の体験談を聞き、乳児に触れ合うことにより、親になる自覚を促した。

・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

・実施数 栃木13回 大平10回 合計23回

・参加者 (単位：人)

妊婦	夫	祖父母等	先輩ママ
179	148	10	33

イ 離乳食・むし歯予防教室

生後10～11か月児の発達に合わせた離乳食やむし歯予防に関する知識を提供するとともに、管理栄養士による栄養相談、また歯科衛生士によるむし歯予防の相談を行った。

・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 61組

ウ 健診事後教室（ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ）

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

	対象年齢	回数（回）	参加者延べ数（組）
ちゃいちゃいぐるーぷ	3歳未満児	33	243
ぺんぎんぐるーぷ	3歳～就学前	20	97

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小学生と中学生を対象に、性（生）教育の授業協力及び講演会を行った。

- ・授業協力

対 象	実施回数 (回)	参加人数（人）	
		児童・生徒	保護者
小 学 校	3	94	71
中 学 校	8	943	0

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 46回（9か月児健康診査時）
- ・参加者延べ数 944組

カ 出前講座

地域住民や施設等からの要望に基づき、子どもの病気や小児生活習慣病を予防するための健康講話を開催した。

- ・実施回数 7回
- ・参加者延べ数 192人

(3) 健康相談

ア 子育て相談

育児に関する相談及び指導を行うとともに親子の交流を図った。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター、都賀保健センター  
藤岡保健福祉センター、西方保健センター、岩舟健康福祉センター
- ・実施回数 54回
- ・参加者延べ数 741組

イ 母乳相談

母乳育児を希望する保護者に対し、助産師が個別相談を通して乳房トラブル等の対応方法について助言指導を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 122組

ウ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がい等の早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を行った。

- ・実施状況 (単位：人)

受診数	結果内訳				
	異常なし	要観察	既医療・既療育	要精密検査	療育機関等紹介
1,132	818	100	40	25	149

エ のびのび相談

乳幼児健診及び相談・家庭訪問等の保健指導において、継続支援が必要な親子や何らかの発達上の問題が疑われた児に対して心理士による個別相談を実施することで、児の健全な発達を促し、保護者への育児支援を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター、都賀保健センター
- ・実施回数 18回
- ・参加者延べ数 34人

オ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し、その適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を行った。

- ・訪問実数 923件
- ・訪問延べ数 1,024件

(4) 歯科保健事業

ア フッ化物塗布事業

歯と口の健康週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と栃木市、壬生町で共催して、小学1年生と年長児を対象にフッ化物塗布及び歯科医師による講演、歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ化物塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合計
198	209	407

イ よい歯のコンクール

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの一次審査を兼ねており、成績優秀者を、県南地区の二次審査に推薦した。

- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・3歳児の部参加者 22人(県南地区への推薦は5人)

- ・親と子の部参加者 4組（県南地区への推薦は2組）

ウ フッ化物洗口

児童のう歯を予防し、歯の健康の保持増進を図るためフッ化物洗口を実施した。

- ・参加学校数 6校
- ・参加者数 826人

(5) 給付事業

ア 未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下または生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

- ・給付認定者数 28件

イ 母子栄養食品支援事業

生活保護世帯または市民税非課税世帯に属する妊産婦及び乳児に対して、心身の健全な育成を図るため、栄養の強化に必要な牛乳または粉ミルクを無償で支給する。

- ・支給決定件数 1件

(6) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（141人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談、乳幼児健診等の受診勧奨を行ったほか、地域の子どもと親同士の交流を図るため、地区公民館等でふれあいのつどい等を開催した。活動を通して地域と行政のパイプ役を担った。

・活動実績 (単位：件)

妊婦関係	乳幼児関係	計
768	1,255	2,023

成人保健係

1 健康増進計画推進事業

(1) 重点領域の推進

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取り組を行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

ア 関係機関

健康増進計画推進部会員（保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等）及び庁内ワーキング構成員

イ 主な取組

- ・中間評価（各種データの分析、生活習慣等アンケート、事業所アンケート）の実施
- ・脳卒中予防に関する出前講座の実施、普及啓発
- ・健康まつりに合わせて小学生からポスター募集と展示

- ・子どもの料理コンクール出展作品の発表会及びレシピ集作成
- ・食生活改善推進員協議会活動推進と3歳児健診時の助言
- ・ラジオ体操の推進（県との共催事業「ラジオ体操講習会」の実施、体操CD貸出）
- ・ちょこっとウォーク～スニーカービズ～「歩くボス」モデル事業の実施
- ・妊婦や未成年に対する受動喫煙を無くすための普及啓発
- ・小学生の健康まつりポスターを利用した受動喫煙防止啓発グッズの作成と配布
- ・禁煙相談機関の周知
- ・「栃木市いのち支える自殺対策計画」の策定
- ・こころの健康相談、こころの健康サポーター研修会等の実施
- ・健康あっぷ講座、出前講座の実施
- ・健康診査・検診の実施

ウ 健康増進計画推進部会及び庁内ワーキング合同会議

脳卒中予防や自殺対策、歯周病予防に関する取組について、健康増進計画推進部会員、庁内ワーキング構成員と話し合った。

- ・実施内容

月日	参加数（人）	内容
第1回 8月2日	52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経過報告及び今後の取組について</li> <li>・栃木市自殺対策計画について</li> <li>・栃木市健康増進計画中間評価について</li> <li>・グループワーク</li> </ul> テーマ「働き盛りの脳卒中を予防する」
第2回 2月21日	44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木市いのち支える自殺対策計画」策定について</li> <li>・健康増進計画中間評価～各領域の取組結果・今後の取組</li> <li>・グループワーク</li> </ul> テーマ「歯周病検診はどうすれば受診につながるか」

(2) 健康都市宣言の普及啓発

「あったかもちぎ健康都市宣言」の周知のため、各総合支所や公民館へのパネルの設置、懸垂幕やのぼり旗の設置、折り込みチラシの全戸配布及び子育て世代への普及啓発として、9か月健診の際に保護者944人に対してチラシの配布を実施した。

2 健康づくり事業

(1) 特定保健指導等事業

特定健診受診者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣の改善のため、運動・栄養等の保健指導を行った。

- ・会場 各保健センター

ア 特定保健指導

(ア) 実施回数（集団＋個別指導） (単位：回)

初回面接	中間評価	最終評価	合計
88	22	26	136

(イ) 実施状況

a 初回面接

区 分	対象者数(人)	指導数(人)	実施率(%)
積極的支援	214	74	34.6
動機付け支援	630	306	48.6
合 計	844	380	45.0

b 中間評価 (初回面接から3か月後)

区 分	指導数(人)	
	平成30年初回面接実施者	平成29年初回面接実施者
積極的支援	21	4
動機付け支援	93	35
合 計	114	39

c 最終評価 (初回面接から6か月後)

区 分	指導数(人)	
	平成30年初回面接実施者	平成29年初回面接実施者
積極的支援	11	10
動機付け支援	53	83
合 計	64	93

イ からだスッキリ教室

(7) 運動教室

・実施状況

回数(回)	特定保健指導該当者延べ数(人)	情報提供者延べ数(人)
60	37	1,057

(イ) 栄養教室

・実施状況

回数(回)	特定保健指導該当者延べ数(人)	情報提供者延べ数(人)
10	3	200

ウ 健診結果説明会

健診結果と生活習慣の改善方法を理解することを目的とし、説明会を行った。

・実施状況(個別指導)

回数(回)	参加数(人)
34	175

(2) 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病重症化予防を目的とし、6か月間の保健指導を行った。

ア 保健指導(外部委託)

- ・対象者 糖尿病腎症第2～4期の病期にある者(人工透析移行のリスクが高い者)
- ・実施状況 面談2回、電話6回



- ・プログラム終了者数 11人

イ 糖尿病予防教室～入門編～

- ・対象者 特定健診結果で糖尿病境界域段階の者
- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・回数 5回1コース（年2コース）
- ・参加者延べ数 238人

ウ 糖尿病予防教室～応用編～

- ・対象者 平成29年度糖尿病予防教室～入門編～受講者
- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・回数 2回1コース（年2コース）
- ・参加者延べ数 49人

(3) 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された者のうち、同意がとれた者に対し、年に1回調査票の送付等を行い、医療機関の受診状況や診療状況の確認と、必要に応じて電話等による受診勧奨を行った。

	対象者（人）	同意者（人）	フォロー数（人）	終了者数（人）
新規（平成30年度）	7	7	17	0
平成29年度	15	11	10	1
平成28年度	14	11	11	-
合計	36	29	38	1

(4) 健康教育

ア 健康あっぷ講座

一般市民を対象に生活習慣病と歯周病の講話、親子での運動の機会を設けるための、運動指導を行った。

- ・実施状況

区分	対象	回数（回）	参加延べ数（人）
口腔	一般市民	2	70
親子運動	1歳未満の子と保護者	6	144
合計		8	214

イ 出前講座

地域や団体に対し、健康教育を行った。

区分	回数（回）	参加延べ数（人）
ロコモ	6	186
口腔	8	269
健康増進計画	10	242
脳卒中	9	196
ロコモ・脳	1	90
合計	34	983

(5) 健康相談・栄養相談・禁煙相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、保健師・管理栄養士が必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 19回
- ・相談者延べ数 22人

(6) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、管理栄養士が個別に慢性疾患の病態に応じた栄養指導を実施し、疾病の早期回復を図った。

- ・実施回数 9回
- ・相談者延べ数 9人

・指導内容(延べ件数) (単位：件)

糖尿病	脂質異常症	高血圧	肝臓病	腎臓病	計
8	3	3	1	1	16

(7) 脳卒中啓発プロジェクト

脳卒中予防に関するチラシを特定保健指導、健診結果説明会、出前講座、からだスツキリ栄養教室、糖尿病予防教室で配布した。

- ・配布数 1,250枚

(8) 熱中症対策

ア 熱中症予防の普及啓発

熱中症予防に関するチラシを集団健診、3歳児健診、運動教室、母子保健推進員による家庭訪問、食生活改善推進員会議等で配布した。また、広報とちぎ、ホームページ、FMくらら、ケーブルテレビ文字放送で情報発信を行った。

- ・チラシ配布数 11,750枚

イ 高温注意情報の周知

気象庁の高温注意情報発令を防災無線放送で周知し、TwitterやFacebookにも掲載した。

- ・防災無線放送の回数 11回

3 自殺予防対策事業

(1) こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等の心の健康相談を実施した。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 21回
- ・相談件数 48件

(2) こころの健康サポーター(ゲートキーパー)養成研修

食生活改善推進員、マロニエ医療福祉専門学校看護学生、薬剤師会を対象に、住民の身近な相談者として、こころの健康サポーター(ゲートキーパー)の役割を理解することで、こころの悩み・サインに気づき、自殺予防を図ることを目的に、研修会を

実施した。

- ・実施回数 3回
- ・参加延べ数 289人

(3) 自殺予防普及啓発キャンペーン（県共催）

自殺等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、街頭において自殺予防の啓発グッズや相談窓口一覧を配布した。

- ・会場 栃木駅、市内スーパー
- ・実施回数 2回
- ・配布数 1,500人分

(4) メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」

パソコンや携帯電話を利用して、自分のこころの健康状態をチェックし、気軽に相談できる窓口を知ること、こころの疾患の早期発見・早期予防につなげることを目的に、こころの健康状態がわかるメンタルヘルスチェックシステムを市のホームページに設置した。

- ・アクセス数 30,952件

#### 4 地域保健対策推進事業

(1) 栃木市健康づくり推進会議

市民の生涯を通じた健康の実現を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくり活動に関係機関、関係団体、行政等が協働して支援し、住民に密着した総合的な健康づくり対策事業を推進するため、会議を実施した。

ア 関係機関

保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等

イ 会議開催

月日	参加数(人)	内容
第1回 9月27日	15	・栃木市保健事業について ・栃木市自殺対策計画について ・栃木市健康増進計画中間評価について ・健康マイレージについて ・新生児聴覚検査について ・産後ケア事業について
第2回 2月28日	13	・栃木市いのち支える自殺対策計画策定について ・健康増進計画中間評価結果について

(2) 食生活改善事業

食生活改善推進員（138人）が、地域における食生活改善推進のため、講習会や食育活動等の普及啓発を行った。また、会員相互の連携を図るため、研修会や支部活動を実施した。

ア 栃木市食生活改善推進員協議会活動

(ア) 講習会

内容	実施回数（回）	参加延べ数（人）
食育教室	1	27
生活習慣病予防教室関係	2	40
男性のための料理教室	1	17
合計	4	84

(イ) 子どもの料理コンクール出展作品発表会

- ・実施回数 1回
- ・参加延べ数 5組（7人）

(ウ) 3歳児健診時食生活アドバイス

- ・実施回数 39回
- ・参加延べ数 2,176人

(エ) 研修会

- ・実施回数 7回
- ・食生活改善推進員参加延べ数 205人

イ 栃木市食生活改善推進員協議会支部活動

(ア) しもつかれ講習会

- ・実施回数 3回
- ・参加延べ数 112人

(イ) 他機関事業協力（試食提供等）

- ・実施回数 8回
- ・参加延べ数 1,474人

(ウ) 研修会

- ・実施回数 11回
- ・食生活改善推進員参加延べ数 164人

(3) 自主グループ活動支援

自主的な健康づくり活動の支援を行った。

- ・団体数 6団体
- ・実施回数 156回
- ・参加実数 152人

5 医療用ウィッグ購入費補助金交付事業

がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の向上に向け、がんの治療に伴う脱毛の悩みに対して支援するため、医療用ウィッグ購入費の補助を行った。

・交付実績

（単位：人）

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
女	1	-	-	2	16	16	17	15	2	69
合計	1	0	0	2	16	17	17	15	2	70

・ 交付額 2,032,500円

## 6 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・ 保健師訪問指導数 1,132人

・ 内訳（延べ人数）

（単位：人）

妊産婦	新生児	未熟児	乳幼児	小児慢性 特定疾患	精神 保健	生活 習慣病	他の 疾患	その他
410	67	14	545	13	31	31	11	10

※その他：小学生、中学生、高校生、その他学生、成人等に対するものを計上